

「まるごと大川」ブランディングを核とした 大川村地場産品販売単価向上プロジェクトへの 企業版ふるさと納税を活用した寄附のお願い【高知県大川村】



『「何が何でも400人の人口」を守ること』を念頭に置いた 「まるごと大川」ブランディングから、産業振興・雇用創出へ

誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のあるむらづくりを実現するために、大川村では「400人の人口の維持」を最大の目標に掲げ、村全体でのおもてなしである「謝肉祭」をイメージした、大川村をまるごと売り出していく「まるごと大川」のブランディングから村地場産品販売単価向上に繋げていくという、村民一体の取り組みを進めています。

人口400人の小さな山村の優れた自然を守り育て、健全な姿で次世代に引き継ぐため、産業振興からの雇用創出の推進、先人たちが切り開き、これまで守り伝えてきた伝統や英知の継承により、大川村ならではの地域づくりを目指します。

企業版ふるさと納税で、大川村の取組にぜひご協力ください。



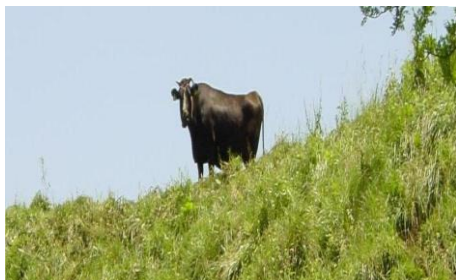
(企業版ふるさと納税とは?)

企業版ふるさと納税は、正式名称を「地方創生応援税制」といい、企業が地域再生法の認定地方公共団体が実施する「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」に対して寄附を行った場合に、税制上の優遇措置を受けられる仕組みです。令和2年度の税制改正により控除割合が拡充され、最大で寄附額の約9割が軽減されます。



ご寄附の使い道 (使途)

大川村が誇る謝肉祭の主役「大川黒牛」の増頭に向けた取組(育成環境の整備、生産を担う人材の育成等に)活用をさせていただきます。



- 村の豊かな大自然をフィールドとした、産業振興を推進していきます。
- かつて4,000人の人口がいた時代に産業の中心となっていた白滝鉦山があった地域を、再び産業の中心として、また人と人との交流が溢れる拠点として再建していきます。

ご寄附いただくことで

企業様に協力をいただきながら、地域に根ざした産業の振興を進め、山村の優れた自然を守り、そこに住む人々とともに歩いていく、官民協働のモデルケースになります。

人口減少時代を迎え「公」と「民」が共に連携を図りながら更なる取組を進めていくことが重要です。

SDGsや地域貢献等に意識が高い企業としてイメージアップになります。

大川村は令和2年国勢調査で、離島を除いて全国最少人口から脱出した自治体となるなど全国から注目をされています。ご寄附いただきました企業様のお名前を村の公式HPで公表させていただきます。